

令和5年度第5回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和5年7月21日（金） 午前9時30分～午後4時40分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室、多目的室
3. 出席者 戸川和成委員長、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、矢野真理委員、藤澤進委員、奥田信康委員（提案3まで）、棚橋明委員（以上9名）
4. 事務局 市民活動推進課・川島課長、岡本課長補佐、本田、榎田
5. 発表者 提案者14名（提案⑦、⑧のみ同席：市関連部署4名）
6. 傍聴者 議題（1）印西市情報公開条例第7条5号の規程により、非公開
議題（2）公開 4名（提案者及び市民活動支援センターを除く）
7. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
 - (1) 企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）／スケジュール及び評価の確認について
 - (2) 企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）について
 - ①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明
 - ②プレゼンテーション
提案1 子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング
（NPO 法人ハートフルコミュニケーション千葉エリア）
提案2 地域猫活動普及啓発事業（印西・地域猫友の会）
提案3 （仮称）別所谷津公園に残る希少な里山生態系を市民とともに後世に残すため企画検討（NPO 法人亀成川を愛する会）
提案4 保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」
（ベジガールズ 全世代に向けた運動支援）
提案5 「放置竹林の整備並びに筍味噌、竹炭など印西特産品の開発推進」
（特定非営利活動法人みどりと大地の会 印西支部）
提案6 チームいんざいプロジェクト（チームいんざい）
提案7 グリーンカーテン大作戦「CO2を減らそう！ストップ温暖化！」
（みんなのいっぼ）
提案8 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
（特定非営利活動法人エコネットちば）
③審査結果発表・講評
 - 3 閉会
8. 会議要旨
 - 2 議題

(1) 企画提案型協働事業 公開審査会(アイデア審査) /スケジュール及び評価の確認について
《事務局説明》

・次第、資料3、9、11、12に基づき説明。

《委員質問・検討》

・公開審査会のスケジュール及び審査方法を共有。

・附帯意見の集約方法を確認。委員会を3グループに分け、8提案を分担して模造紙に集約し、グループリーダーが講評することとした。

(2) 令和5年度企画提案型協働事業の提案事業について

①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明

②プレゼンテーション

【提案1】家庭教育力の向上支援事業「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」

提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 事業を行う想定として、どの場所(施設等)を考えていますか。

(提案者回答) 行政と相談しながら、参加者が安心して学べる場所で行いたい。団体としては、市民活動支援センターや公民館で活動している。

(質問2) 市で実施している子育て講座との整合性を、どのように考えていますか。子どもたちが大きくなって、世代間の伝達など想定されますか。

(提案者回答) 乳幼児期から、小・中学生の思春期の子どもがいる家庭向けの講座を実施できる。市行政との考え方の整合性を整えていきたい。

(質問3) コーチングやファシリテーションなど、どんな考え方のことに行っていくのか。

(提案者回答) 信頼関係のないところには何も生まれない。講座受講者が、考えることのできる場づくりをしていきたい。

(質問4) 講座実施は少人数での実施のようだが、印西市内の対象者はもっとたくさんおられると思います。講座実施による効果として、どういった効果を予測していますか。少人数実施から、周囲にどのように波及できると考えていますか。

(提案者回答) 講座受講者が学んだことを自発的に活用していくことが、周囲に同じ効果をもたらしていくものと考えている。

(質問5) 参加したくても参加できない方もいると思う。参加できない方に呼びかけるにはどうしますか。

(提案者回答) オンラインでの参加などの方法が考えられます。

(質問6) 核家族化がすすんでいるが、反対に三世同居家庭についてはどう考えますか。

(提案者回答) 三世同居は、子育てを体験できる家庭であると思う。

【提案2】 地域猫活動普及啓発事業 (印西・地域猫友の会)

提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 提案内容のうち、2,019,000円と記載があるが、金額を積算した根拠、事業の内容、考え方を教えてください。

(提案者回答) 地域猫活動サポート事業として、野良猫への対応を地域の問題として考えていただくためのお手伝いとして、指導のための人件費を積算している。

(質問2) 事業目的としては、地域の問題として啓発し、給仕者を教育する中間支援団体といった立ち位置ということで良いでしょうか。

(提案者回答) 地域猫が去勢、避妊手術を経て、当代限りの命を全うしていく地域猫活動について、地域ごとに助言ができればと考えている。

(質問3) 北総花の丘公園などで、活動している様子を見かけることがあります。公園内は餌やり禁止とも聞いていますが、実際はどうでしょうか。

(提案者回答) 当団体で活動しているものと思われます。都市公園では、猫への餌やり禁止と看板が掲げられていますが、現実的に地域猫活動では公園で掃除しながら活動しているところです。活動については環境保全課に届け出済みで、公園での活動について環境保全課と調整中です。

(質問4) 地域猫と野良猫の区別はどうなっているのですか。

(提案者回答) 地域猫について、不妊去勢手術を団体が自腹で行っているところです。

【提案3】 (仮称)別所谷津公園に残る希少な里山生態系を市民とともに後世に残すため企画検討 提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 提案内容として、自然調査についてどの範囲(区域)を想定していますか。

(提案者回答) 半分くらいの区域を想定。谷津は危険で、調査をする費用も時間も無かった。調査費用が必要だと考えている。

(質問2) 目的を絞ったほうが、より効果が出やすいと感じています。調査を行うことで価値を知らしめることになると思うが、環境省のOECM認定制度として「環境共生サイト」への登録申請等の意向はありますか。土地所有者の承認も踏まえて視野に入れると良いと思っています。

(提案者回答) OECM認定制度については登録申請を考えている。

(質問3) 貴重な生態系、水源のことなど、事業の効果をどのように考えていますか。周知して良

いことであると考えますが、一般参加者の事例など、いかがですか。

(提案者回答)昨年度の活動参加者はのべ1,200人ほど参加している。約半数600人分は一般市民。子供に自然体験させたいという希望がある。湿地に入ることは危険なので、注意しながら事業を行う必要があるが、アイデアを考えている。

(質問4)市行政との協力体制について、どのように考えていますか。

(提案者回答)市行政には役割として費用を出してほしい。団体としてはホテルの観察会などを行い、市民に親しんでもらいたいと考えている。

(質問5)費用の内訳は、どうなっていますか。

(提案者回答)ワークショップの費用や成果発表会の他、調査費用として300万円ほどを考えている。

(質問6)市民に体験していただくことで、自分事として考えると思います。調査費用とはコンサルの費用だと考えますが、市民だけでの活動では限界であると感じたのが協働の発想の一つだと思っています。他の事業に呼びかける考えはありますか。

(提案者回答)環境保全課と協働で行っていることとしては、水質調査や外来駆除である。今までは印西自然探訪として活動してきたが、これからは保全探訪といった活動もしていきたい。我々が、汗を流さないと自然は保全できないことを伝えていきたい。

【提案4】 保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」

提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。医療用バランスボールを用いて、運動支援の実演を行った。

質疑応答

(質問1)事業目的について、担当部署との調整等を行っていますか。

(提案者回答)提案書を提出後に、保育課に話をした。事業実現の可能性を広げるため、年長児だけでなく、年中児、年少児に対象を広げて事業を行う。

(質問2)医療用バランスボールを使用することですが、効果が出るのには、月に何回くらいのレッスンを想定していますか。1回の実施でも効果がありますか。また、ボランティアですか。費用はどのくらい掛かりますか。

(提案者回答)1回の実施でも効果がある。有酸素運動なので継続するほうが良い。運動するきっかけづくりとして取り入れている。今まではボランティアで各保育園で行っており、今後も続けてほしいと話があったので、協働事業として行いたいと思ってる。一園につき一回当たり人件費として2万円。その他、バランスボールの購入費用を消耗品としている。

(質問3)今年は市民活動団体の活動として8園で行っているとのことですが、市内で保育園は29園あると聞いています。協働事業を行えば、29園に伺えるということですか。各保育園への働きかけはどのように考えていますか。29園行うための実現可能性や、効果はいかがでしょうか。

(提案者回答) 保育課協力のもと周知し、今年は現時点で8園の希望があった。提案として多くの子供たちに行いたいことから、29園で実施することを考えた時に、協働事業として行いたいと考えている。11名のインストラクターが交代で月に何回か回っていけば実施できると考えている。

(質問4) 保育課が各保育園にバランスボールを使って運動支援するように申し入れることができるかどうかは疑問に感じています。29園で実施できる実現可能性はいかがでしょうか。

(提案者回答) 提案書を提出後に保育課に打診したところ、保育課から一斉に同じプログラムの実施を全保育園に依頼することはできないことを知った。子どもたちに元気になって免疫力をつけてほしいことから、アイデア審査に通過したら、園児を取り扱っている担当部署に話をしたいと思っている。

(質問5) 費用対効果86万円の人件費とのことなので、回数を43回と考えると29園回るとなると各園2回目があるかないかということになります。そこで、提案として特定の園で限定的に行う考えはありますか。

(提案者回答) 団体内で協議する必要があります。

【提案5】 「放置竹林の整備並びに筍味噌、竹炭など印西特産品の開発推進」

提案者の発表

・パワーポイント及び資料を使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 自分たちで収穫して販売するとのことですが、利益をどのように還元しようと考えていますか。協働の形としてはどうなりますか。

(提案者回答) 利益にはなっていない。会員から年会費一万円を集め、商品としている。

(質問2) 私有地(個人所有の土地)の地権者との調整はどのように考えていますか。

(提案者回答) 竹林として成り立っていない。荒れた状態になっている。

(質問3) 地権者との調整において、具体的に取り組んでいる事例はありますか。

(提案者回答) 大森坂上に荒れた竹林があり、地権者に説明し、理解を得ながら整備しており、地権者に喜ばれている。

(質問4) 竹炭や発酵食品の紹介もありましたが、竹林の整備と発酵食品の販売と、どちらが事業の中心なのでしょうか。放置林で所有者が誰か分からない、周辺が迷惑しているので、市行政に参与してもらいたいところでしょうか。竹林の整備と発酵食品の販売と、どのように結びつのか疑問です。

(提案者回答) 竹林を整備することで筍を掘ることができ、掘った筍を発酵食品にすることができると考えています。人類の健康と安全が危惧されているため、印西支部を立ち上げ、活動している。

【提案6】 チームいんざいプロジェクト (チームいんざい)

提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 市政への参加を提案するとのことですが、憲法に係るお話もありました。印西市での取り組みとしては、まちづくりに係ることでしょうか。

(提案者回答) 提案を練れていないところがあるが、市民参加を促すに当たり、地域で抱える課題を市民がどう考えるのか、市民自身がアイデアを出してくることが大切と考えている。

(質問2) 事業の焦点としては、どんな点でしょうか。

(提案者回答) アイデアが具体的ではないところがあるが、市の担当者と内容を詰めていきたい。

(質問3) 市民参加とは、手段であると考えています。最終目標はどういったところでしょうか。

(提案者回答) 当事者である市民が印西市をどうしていきたいのかを吸い上げていって、市行政に伝えていきたい。まだ、最終的な内容を提案しているわけではない。

【提案7】 グリーンカーテン大作戦「CO2を減らそう！ストップ温暖化！」

環境保全課より、指定テーマの内容説明

提案者の発表

・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

(質問1) 今年度に行っている事業の進行状況はいかがですか。

(環境保全課回答) 市民を対象に啓発している。公共施設で苗の配布を行っている。

(質問2) 事業実施における具体的な到達点としては、どういったところを考えていますか。

(提案者回答) 現在は事業実施1年目の収穫として、小学校での環境学習があげられる。子どもたちが触媒となって家庭に持ち帰ることで、家庭で保護者も受け止めてくれている。最終的なゴールはできれば市内の小学校の環境教育で夏休みにゴーヤを育てる課題と協力していきたい、またそれ以外の市民のみなさんにも挑戦の場を作っていけたらと考えている。

(環境保全課回答) 団体に啓発していただくことで、市民のみなさんが自分で種を購入して率先してCO2削減を目指して行っていただけることを目指している。

(質問3) 環境について興味の高くない市民の方々に、どのように呼びかけていこうと考えていますか。アイデアとしては、子どもと環境面で興味の高くない市民のどちらに比重を置いていますか。市行政との調整はいかがですか。

(提案者回答) 無関心の方をターゲットにしている。子どもたちの環境学習の機会を通じて、家庭に伝わるように働きかけている。小学校ではゴーヤの育て方が課題となっているので、学校と連携していく。市民のみなさんが協力してくれるよう願っている。

(環境保全課回答) 学校での出前講座として団体が講義を行ったりしてくれたことから、市民の方々に詳細を伝えていく周知手段として考えている。

【提案8】 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

都市整備課より、指定テーマの内容説明

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）提案者の負担が大きいと感じています。そこで指定テーマとして提出いただいた市行政におたずねします。どの程度の協働の効果を考えていますか。

（都市整備課回答）長年にわたり、提案者が事業を担ってくれていることもあり、地域における憩いの場として活用されていることが実績です。

（質問2）提案者の負担が大きいと感じています。提案者様として、どの程度の協働の効果を考えていますか。また、要望事項はありますか。

（提案者回答）平成29年に来場者アンケートを行い、80名の回答をいただいた。自由意見の中で、調整池内のガマやアシが繁茂して増えすぎており、除去してほしいとの声があった。

（質問3）調整池の担当部署はどの部署ですか。ガマやアシの撤去はどうしますか。

（都市整備課回答）調整池の担当部署は、都市建設部土木管理課になります。令和3年度に調整池内の土砂やガマ・アシの一部撤去を行いました。令和4年度は南側の流入口付近の汚泥の撤去を行いました。令和5年度は、調整池全体のうちの半分程度の土砂の撤去を予定しております。

（提案者回答）令和4年度冬に繁茂した外来種を刈り取っていただきました。今年度は昨年度よりも規模を大きくして、大型重機を入れて土砂や外来種を撤去してくださる予定です。

（質問4）土砂の撤去費用については、提案書の費用に反映されていますか。

（提案者回答）調整池の中の土砂の撤去等については、所管が異なり、提案事業の費用とは別予算で、土木管理課の予算として計上されています。

③審査結果発表・講評

【審査結果】

提案番号	事業名	○	△	結果 (可/否)
1	家庭教育力の向上支援事業 「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」	8	1	可
2	「地域猫活動」普及啓発事業	5	4	可
3	(仮称)別所谷津公園に残る希少な里山生態系を市民とともに後世に残すため企画検討	9	0	可
4	保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」	5	3	可
5	放置竹林の整備ならびに筍味噌、竹炭など印西特産品の開発推進	1	7	否
6	チームいんざいプロジェクト	3	5	否
7	グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ ストップ温暖化！」	8	0	可
8	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	8	0	可

【講評】

提案毎に、担当の市民活動推進委員会委員より講評を行う。

【提案1】家庭教育力の向上支援事業「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」

- ・市民ニーズを的確にとらえた事業であると評価します。
- ・事業実施にあたっては、コーチングの点なども含め、市との役割分担を明確にできるよう、よく協議してください。

【提案2】「地域猫活動」普及啓発事業

- ・地域猫活動は市民ニーズが高く、行政・地域と連携していくことが問題解決には重要であり、協働による効果も高い事業だと評価します。
- ・事業計画等の作成にあたっては、猫が増えてしまって時にどうするのかといった課題にも留意しながら、具体的な事業計画を立案するなどして、市行政や地域、団体同士で連携しながら、市行政との役割についてよく協議してください。

【提案3】(仮称)別所谷津公園に残る希少な里山生態系を市民とともに後世に残すため企画検討

- ・的確に課題を把握した事業であると評価します。より効果的な事業にしていくため、生態系の保全と活用について、市の整備事業との整合性を取りながら、市との協力体制により事業実施できるよう、協議を進めてください。

- ・市行政との協力関係を維持する必要があると考えます。調査費用を積算するなどしていることから、成果指標の見える化ができると良いと思います。
- ・環境の保全について、市民へ働きかけを行い、市民の参加を活性化できるよう期待しています。
- ・子どもの環境教育など、地域への愛着や誇りに繋がるよう、また世代間で繋がっていく活動を期待しています。

【提案4】 保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」

- ・子どもの体力不足の問題は、重要な地域課題と言えると思います。
- ・運動不足解消のための事業の実施時間について、適切なのか気になるという意見がありました。
- ・他の運動グループとの連携を考えていただけると、より広がりのある事業になると思います。
- ・市の役割においては、開催場所の確保や広報、人件費の負担を期待するとのことですが、協働事業実施に際しては、適切な成果評価の設定を念頭に置きながら、実現に向けて市と事業内容の調整を図ってください。
- ・提案の回数が年間 43 回で良いのか、また保育園の数や担い手の兼ね合いから、地域を絞るなど検討してみると良いのではないかと思います。

【提案5】 放置竹林の整備ならびに筍味噌、竹炭など印西特産品の開発推進

- ・事業内容が理解しづらかったように感じます。
- ・放置竹林の問題は地域における課題と言えると思います。ただし、発酵食品の開発と前述の地域課題では距離があるように感じます。
- ・協働事業として実現していくためには、土地所有者との調整方法や整備エリア等をより明確化されることが望ましいと考えます。また、特産品開発については、市の事業として実施していく展望が明確になると良いと思います。再チャレンジされることを期待します。

【提案6】 チームいんざいプロジェクト

- ・市民参加を進めてく必要性は高いと感じます。
- ・協働事業として実現していくためには、事業の目標と実施内容、市との役割分担を明確にされると良いと思います。まちづくりのイメージを明確にして、再チャレンジされることを期待します。

【提案7】 グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化！」

- ・現在の活動が広がりを見せているように感じます。対象とする市民にどうやって啓発するのか、事業実施の成果を踏まえて活動してほしいと思います。
- ・担当課と連携して、アイデアを盛り込みながら継続して事業を進めていくことを期待します。
- ・環境学習については、教育委員会との連携なども模索してはどうでしょうか。
- ・CO2削減についても期待できると考えます。

【提案8】竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

- ・長年に渡り、地域に親しまれる景観を整備している素晴らしい事業であると思います。
- ・団体側の負担が過多にならないよう、持続的な事業実施の体制の構築を望みます。

【総評】

- ・委員長より総評がある。
- ・審査結果が「可」となりました提案につきましては、三者協議により調整していただき、実現可能な提案を最終審査で発表してくださるよう期待します。
- ・審査結果が「否」となりました提案につきましては、次年度以降の再チャレンジを期待します。

【事務連絡】

- ・提案者に、本日の審査結果通知の予定を説明。また、アイデア審査を通過した提案者に、最終審査に臨むにあたっての三者協議や提出書類等の通知を説明した。
- ・最終審査を10月6日に実施することを説明。

以上

令和5年7月21日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和5年8月14日

会議録署名委員 委員長 戸川 和成